

■ デジタル行財政改革会議で上下水道DXの推進を議論

2025年2月、第9回デジタル行財政改革会議が開催された。その中で上下水道のデジタルトランスフォーメーション（DX）も重要課題の一つとして取り上げられて

いる。

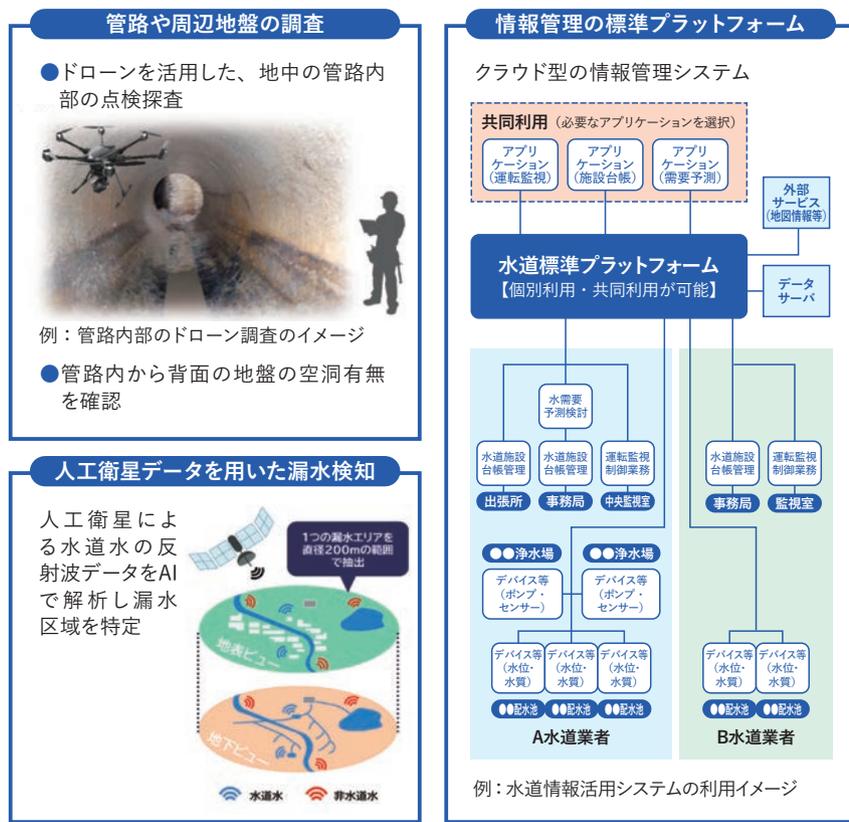
1月28日に埼玉県八潮市で起こった道路陥没事故は、下水道管の老朽化が原因とみられ、対応が急務だ。政府は、有識者による対策検討委員会を開催。さらに「上下水道DX技術カタログ」の策定に向けて技術情報を募集

するなど、対策に取り組んでいる。デジタル行財政改革会議では、人工衛星や人工知能（AI）を活用して温度や地質などのデータを収集・解析し、漏水区域を特定したり、ドローンで水道管内の点検探査を実施して、修繕が必要な部分の早期発見につなげたりする方策も打ち出している。

これらDX技術について、石破総理は従来の計画を見直し、今後5年程度から3年程度の導入へ前倒しする意向を示した。全国の自治体でDX技術が実装されることを目指している。

また、災害時の復旧活動の迅速化や広域連携の強化のため、下水道などの施設情報を紙媒体でのみ管理している自治体をゼロにできるよう、情報整備・管理の標準化を進める。この方策は、今年6月を目途にとりまとめる予定だ。

(図表3) 上下水道DXの推進



HITACHI

Digital for all.

地球環境を守りながら、豊かな暮らしも実現したい。
両立の鍵は、デジタル。
デジタルの力を、すべての人たちのために。

詳しくはWEBページへ

株式会社 日立製作所 デジタルシステム&サービス統括本部 https://www.hitachi.co.jp/dfa/a/